


わくわくドキドキタブレット 実践報告書

<p>中学部2年</p> <p>教科等: 生活単元学習</p>	<p>単元計画</p>		
<p>実践報告テーマ(簡潔に)</p> <p>・興味関心を高めるためのタブレット活用 ・学習成果の記録(蓄積)と発表手段としてのタブレット活用</p>		<p>1 公共施設のルールやマナーを確認しよう(2) 2 身近な公共施設について調べよう(2) 3 フロアマップについて知ろう(2) 4 みんなで博物館を見学しよう(2)</p>	
<p>単元名</p>	<p>公共施設を利用しよう</p>		
<p>実践のねらい (簡条書き)</p>	<p>・各々が手元で教材を見たり操作したりすることで、興味関心や意欲を高める。 ・書くことや話すことに苦手意識のある生徒でも、意見を表出することができる。</p>		
<p>授業の展開(簡潔に) ※動画教材やICTを活用した部分には「★」印をつける</p>			
<p>導入</p>	<p>・本時の目標・学習内容を知る。★PowerPoint、電子黒板 ・公共施設の利用にあたり、守るべきルールやマナーを確認する。★iPad: Air Drop 機能 →駅構内などのシチュエーションのイラストからマナー違反を見つける。(間違い探し)</p>		
<p>展開</p>	<p>・公共施設の館内マップを見ながら、マークの数や意味などを、iPad で調べる。 ★iPad →調べた意味やマークの数は、ワークシートに記入する。 ・国立科学博物館のVR体験を行い、おすすめポイントを探したり、HP のワークシートに挑戦したりする。 ★iPad: 「おうちで体験!かはくVR」 →おすすめポイントやワークシートの内容は、スクリーンショットやカメラ機能で記録し、教師用の端末に AirDrop で送信する。</p>		
<p>まとめ</p>	<p>・生徒から送られた画像データを紹介する。★iPad、電子黒板 ・本時の学習内容の振り返りを行う。★PowerPoint、電子黒板</p>		
<p>動画教材やICTの活用のポイント(効果と児童生徒の反応)</p>			
<p>【写真等】</p>	<p>【ポイント解説】</p>	<p>【写真等】</p>	<p>【ポイント解説】</p>
	<p>・教材を生徒一人一人の iPad に転送し、手元に提示した。集中して取り組む姿が見られた。</p>		<p>・ワークシートの設問に応じて、iPad で検索しながら取り組んでいた。検索ワードの一例を提示すると効果的であった。</p>
	<p>・VRでの館内見学体験では、スクリーンショットを活用しながら取り組む様子が見られた。</p>	<p>「生徒から送信された画像等の紹介」 (電子黒板)</p>	<p>・自分の画像を Air Drop で送信したり、自分の画像が紹介されると、展示物等の情報を発表したりすることができた。</p>
<p>実践報告のまとめ</p>			
<p>これまで、PowerPoint を活用して、モニターやスクリーンに映すことが多くあったが、今回は生徒一人一人の iPad を活用して適宜教材を提示することで、より興味関心や意欲を高められたと感じた。また、普段は発言や発表、書くことに対して消極的な生徒が、AirDrop を活用することで、積極的に活動できていた。調べ学習の成果をプリントに代わる記録蓄積としても有効であると感じた。</p>			